

歩 行 車 トラストケアウォーカー「レッツフライ」

取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。またこの取扱説明書は大切に保管してください。

警 告

- ご使用前は各部を点検し、特に左右両輪にハンドブレーキが確実に効くかどうか、必ず確認してください。また、パーキングブレーキのかかり具合と解除機能を必ず確かめてください。(4 ページ参照) パーキングブレーキが効かない、ゆるい場合は使用をただちに中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 座席を使用する場合は、必ずパーキングブレーキを左右両輪にかけてください。また、傾斜地では使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 本製品は車椅子ではありません。人を乗せたまま移動しないでください。
- 座席の上に乗って立ち上がらないでください。また、バッグ内に乳幼児を乗せたり、座席に人を乗せたまま移動しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 使用される場所に十分注意してください。凹凸、車道と歩道、踏み切り、エレベーターの出入り口などの段差や溝、エスカレーター、坂道および表面が滑りやすいところで使用される時は特にご注意ください。また、交通量の多いところ、混雑しているところでも十分注意してください。
- 夜間および急勾配の坂道、また、傾斜地（車体が斜めになったの走行）では大変危険ですから使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 歩行時は必ず両手でハンドルグリップを握ってご使用ください。ハンドルグリップ以外の部分（例えばバックサポート）を持って歩行しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 片方のハンドル部分に極端に荷重をかけると左右のバランスがくずれて転倒する恐れがありますので、十分注意してください。また、片方のブレーキだけを握ったり、片方の握りが弱い場合、左右のバランスがくずれ不安定となり転倒する恐れがあります。必ず両手でハンドブレーキをかけ、左右両輪に同時に同じ力をかけてご使用してください。
- バッグの最大積載量(5kg)を守ってご使用ください。過度の荷物は歩行中のバランスをくずします。転倒してケガをする恐れがあります。
- 最大使用者体重(130kg)を守ってご使用ください。

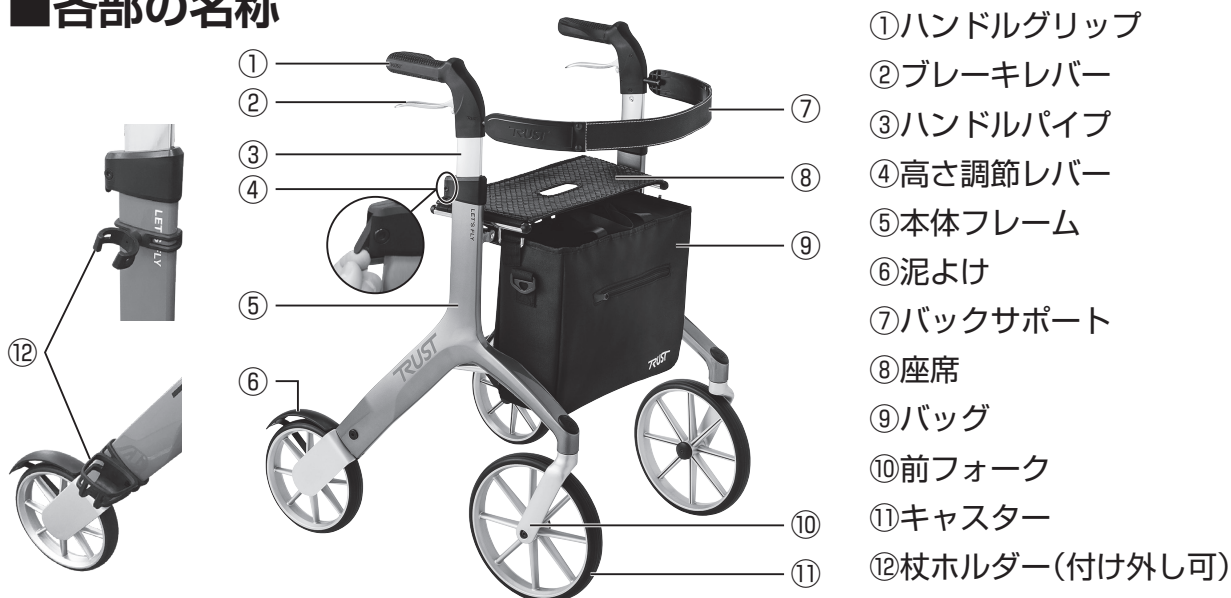
安全上のご注意

ご使用になる前に

- 本体を完全に広げ、しっかりと固定されているかどうか確認してください。
- 各部のネジ類のゆるみがないか必ずチェックしてください。
- 組立および調節は 2 ～ 4 ページの内容に従って確실히行ってください。
- タイヤおよびブレーキの摩耗がないかを定期的に保守・点検し、必要に応じて交換等を行ってください。(お買い上げの販売店にご相談ください。)

この度は「レッツフライ」をお買い上げ頂きありがとうございます。
正しくご使用頂き、お役に立ちますようこの説明書をよくお読みください。

■各部の名称



■セット内容

カートンを開けたら、以下のものが入っていることをご確認ください。

● 本体.....(1台)

〈付属品〉

● バックサポート.....(1個)

● 六角ボルト※¹.....(2本)

● 六角レンチ※².....(1本)

● バッグ.....(1個)

● 杖ホルダー (上)(下).....(1組)

● 六角レンチ (小)※³.....(1本)

● プラスドライバー※⁴.....(1本)

※3、※4は杖ホルダーの取り付けに使用します。

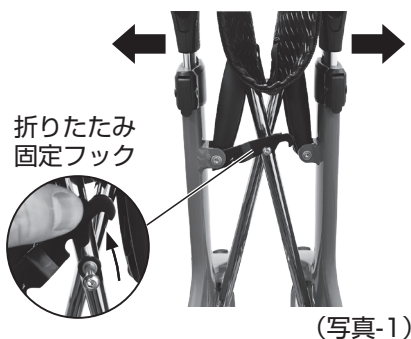
※1、※2はバックサポートの取り付けに使用します。

■組み立て方法

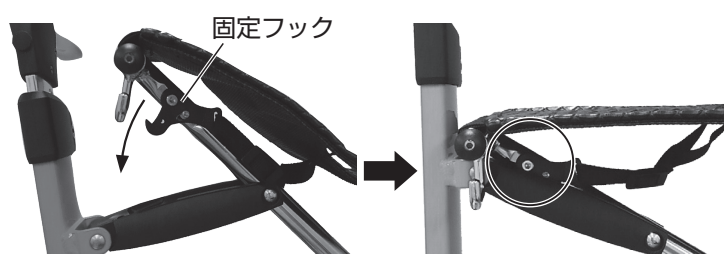
- 1** 折りたたみ固定フックを外しロックを解除します。
ハンドルグリップを持ち、左右に本体を開きます。(写真-1)

- 2** 座席の両端を押し下げ、本体を完全に広げます。(写真-2)
座席下の固定フックが正しい位置に留まっていることを確認してください。(写真-3)

(注) この時座席下のフレームパイプに指をはさまないよう注意してください。



(写真-1)



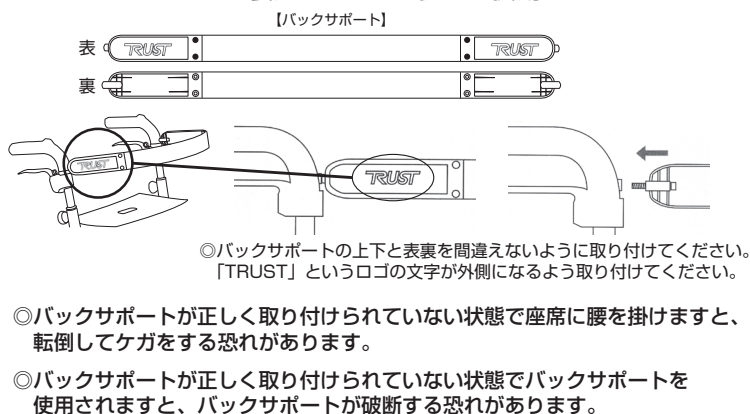
(写真-3)



(写真-2)

- 3** バックサポートを本体に取り付けます。
 左右のハンドルパイプにあるバックサポートの取り付け穴から保護キャップを外します。(写真-4)
 バックサポートをハンドルパイプの取り付け穴に合わせ、付属の六角ボルトでしっかりと締め付けて固定します。

⚠ バックサポートは正しく取り付けてください。
バックサポートが裏返しになった状態で使用しないでください。



- 4** バッグを座席下の左右のフックにかけて取り付けます。(写真-5)

- 5** 杖ホルダーの上部（挟む部分）下部（受ける部分）をそれぞれ組み立て、杖ホルダーを本体に取り付けます。



①杖ホルダーの各部品が揃っているか確認してください。

②上部・下部それぞれ組み立てる。



※プラスドライバーを使用します



※六角レンチを使用します

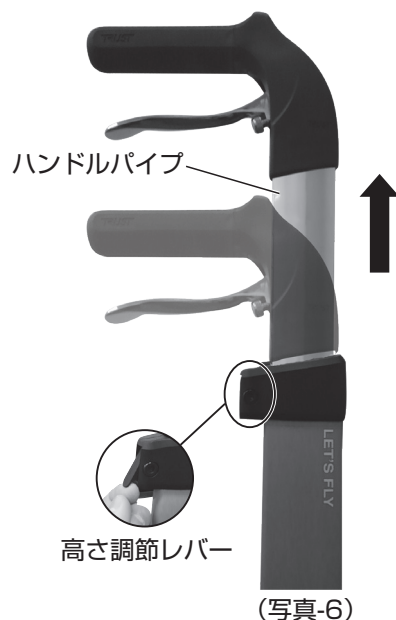
③組み立てたら指定の位置に押し込むように取り付け。



■高さ調節

ハンドルを使用者に適した高さに調節します。

- 1** 高さ調節レバーを手前に引きます。
- 2** ハンドルパイプを引き上げて高さを調節してください。必ず左右の位置（高さ）を合わせてください。（6段階調節）
 高さ調節の際は「カチッ」と音がして、ハンドルパイプが固定されたことを確認してください。（写真-6）
（注1） ハンドルパイプの左右の高さが違うとバランスをくずし、転倒してケガをする恐れがあります。

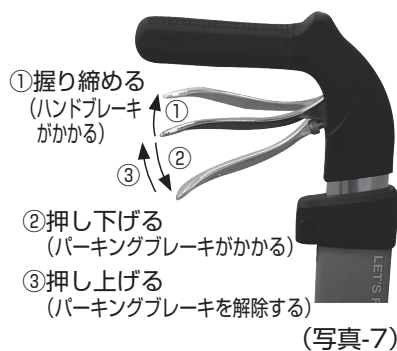


■ブレーキの操作および調整方法

ハンドブレーキの操作

①自転車のハンドブレーキを使う要領で、ハンドルグリップとブレーキレバーを同時に握り締めるとブレーキがかかります。歩く時はブレーキレバーから手を放します。

(注) ブレーキをかける時は、両手で左右同時にゆっくり適度に握ってください。(写真-7)



パーキングブレーキの操作

②左右両方のブレーキレバーを押し下げるとパーキングブレーキがかかります。

③パーキングブレーキを解除する時はハンドルとブレーキレバーをもう一度握り締めます。

またはブレーキレバーを押し上げます。(写真-7)

ブレーキの調整

ブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効き具合はブレーキレバーの調整ダイヤルを時計まわり、または反時計まわりに回して調整することができます。(写真-8)

時計まわり……ブレーキの効きをゆるめる

反時計まわり…ブレーキの効きを強める

(注1) 左右のブレーキは同じ効き具合にしてください。

(注2) 調整後、ハンドブレーキ、パーキングブレーキが左右とも確実に効くか確認してください。

(注3) パーキングブレーキをかけた状態では、ブレーキの調整はできません。



(写真-8)



(写真-9)

■座席の使用方法

座席に座る場合は、まず左右のパーキングブレーキをかけ、動かないことを確認のうえ、ゆっくりと後ろ向きに腰掛けてください。

■本体の折りたたみ

①本体を折りたたむ時はバッグの中に入っているものを取り出すかまたはバッグを外してください。

②座席の中央にあるストラップを引き上げると座席下の固定フックが解除され本体が折りたたまれます。(写真-9)

③左右の本体フレームパイプを閉じるようにして完全に折りたたんでください。折りたたみ固定フックがピンにかかりロックされます。(写真-10)



(写真-10)

【商品仕様】

最大使用者体重 130kg 最大積載量 バッグ：5kg

品名	レッツフライ	寸法	●高さ……………79～91.5cm
商品番号	グレー 118100 レッド 118101		●横幅……………57.5cm
重量	6.9kg (本体のみ) / 7.6kg (付属品含む)		●奥行……………66cm
			●座面高……………60cm
			●座席サイズ……………38.5 × 16cm
			●キャスター径……………前 24.5cm 後 20cm
			●折りたたみ時幅……………23cm

商品改良のため、仕様は予告なく変更する場合があります。

ご使用前のチェックリスト

安心してご使用頂くために、定期的にこの点検表にそって各部を点検し、修理等が必要な場合はお買い上げになった販売店にご相談ください。

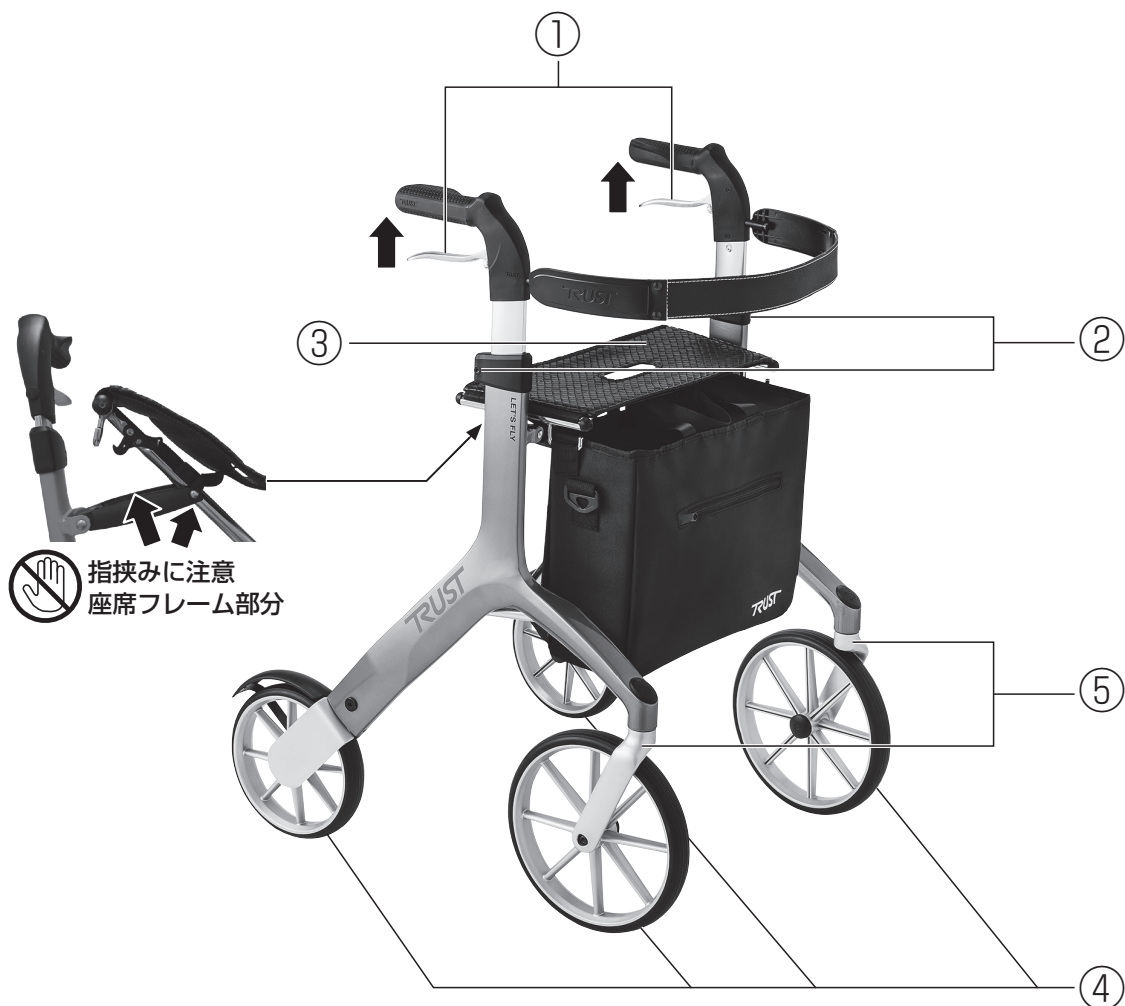
チェックリスト		
組み立て	組み立てや折りたたみがスムーズに出来るか	
ハンドル	ハンドルにゆるみやガタツキがないか	
	スムーズに操作することが出来るか	
	左右の高さは同じか	
バックサポート	表裏、上下の向きが正しく取り付けられているか	
	ゆるみや亀裂はないか	
ブレーキ、 パーキング	ハンドブレーキは左右ともに確実に効くか	
	パーキングブレーキは左右ともに確実に効くか	
各部のボルト、 ナット	高さ調節レバーは確実に固定されているか	
	各部のボルト、ナットにゆるみはないか	
	各部のボルト、ナットはなくなっていないか	
前後のキャスター	摩耗や亀裂はないか	
	動作時にきしみ音や異常な音はしないか	
前フォーク(左右)	スムーズに回転するか	
	前フォーク部にガタツキがないか	

【お手入れのしかた】

- 本製品は清掃して清潔を保ってください。
- 適度にうすめた中性洗剤をスポンジかやわらかい布に含ませて汚れをきれいに拭き取ってください。
- 水で洗剤を流し、陰干しにするか、乾いた布できれいに拭き取ってください。
- タワシや磨き粉、研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。
(塗装がはげて、サビ、変色、劣化の原因となります。)
- シンナー、クレゾール塩素系洗剤などは使用しないでください。
(プラスチックが劣化または破損してケガの原因となることがあります。)
- 保管時は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
(サビ、変色等各部の劣化の原因となることがあります。)

安全にご使用頂くために以下の事柄を再度確認してください。

- キャスターが水に濡れるとブレーキがすべり、停止しない場合があります。
特に水たまりや、雨の日はご使用にならないでください。
- 特に小さいお子様がいるご家庭では指・腕・頭などをはさんだりしないようご注意ください。



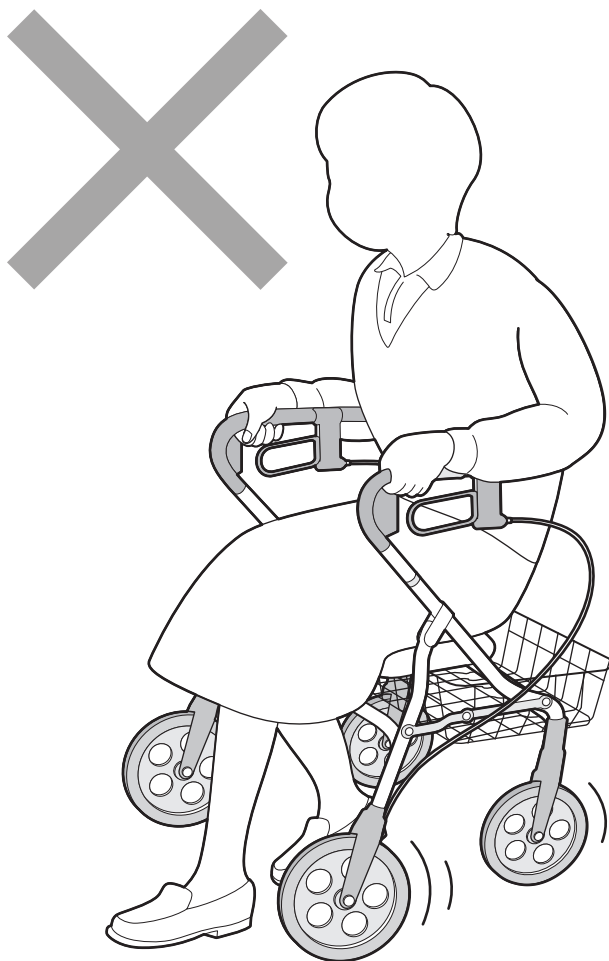
- ① ブレーキは必ず両手で左右同時に同じ力をかけてご使用ください。片方のブレーキレバーだけを握ったり、握りが弱かったりする場合、左右のバランスがくずれ不安定になり転倒してケガをする恐れがあります。
- ② 高さ調節レバーが確実に戻っていることを確認してください。
- ③ 座席の両端を押し下げ、本体を完全に広げてください。座席下の固定フックが正しい位置に留まっていることを確認してください。
- ④ キャスターの保護シートを必ず4つとも取り除いてください。取り忘れるとブレーキの効きが悪くなります。
- ⑤ 左右の前フォークがスムーズに回転するか、ガタツキがないかを確認してください。



危ない使い方は絶対にしないでください。



車椅子のような使い方はしない。



※イラストは本製品とは異なります。

- 座席に座ったまま脚で漕ぐなどして移動しないでください。
また、人を乗せたまま移動しないでください。
- 座席を使用する場合は、必ずパーキングブレーキを左右両輪にかけてください。
また、傾斜地では使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 座席の上に乗って立ち上がらないでください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体警告ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ニ) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・公害および地震・雷・風水害その他天災地変などの、外部に原因がある故障・損傷。
 - (ヘ) 以下の消耗部品については無料修理の適用外です。
 - ・キャスター ・ブレーキワイヤー
 - ・ブレーキパッド ・座席

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

★保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

修理メモ

〈輸入・販売元〉



〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-69

商品に関するお問い合わせ
受付時間 / 平日9:00～17:00

無料
通話

0120-798-777

URL <http://taketora-web.com/> E-mail info@taketora-web.com

〈製造元〉 Trust Care Sweden (Made in China)

AH-03